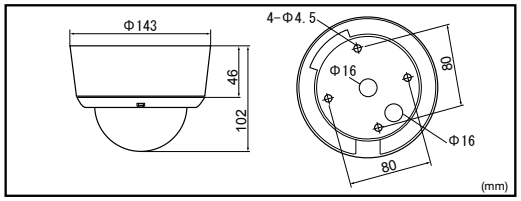
外形図



仕 様

モデル名	IR-9335VG-T1
有効画素数	38万画素 768(H)×494(V)
映像信号方式 / 同期方式	NTSC方式 / 内部同期
映像出力	1.0Vp-p / 75Ω
解像度 / S/N比	水平540TV本 / 50dB(AGC OFF)
最低被写体照度	0.012LUX F1.2(白黒時)、0.0014LUX F1.2(S.UP時)
イメージセンサー	1/3" CCD
フリッカーレス機能	ON / OFF
逆光補正機能	ON / OFF
感度UP機能	ON / OFF
デイナイト機能	ON / OFF
DNR機能	ON
赤外線LED	18個
レンズ / 監視角度(H)	2.8～10.0mm F1.2～360 / 97°～28.8°
電源	DC12V±10%
消費電流	400mA (最大)
動作温度 / 湿度	-20℃～50℃ / 85%以下
外形寸法 / 重量	143Φ ×102(H)mm / 710g
入出力端子	映像：BNC - J、電源：DC - J、補助モニター出力(MONITOR OUT)：2P
付属品	モニター用ケーブル(RCA-J/2P)×1, DCケーブル(DC-P/2P)×1, 六角レンチ×1, ネジ一式, 防水パッド×1

使用上のご注意

1. カメラ内部は絶対に分解、改造はしないで下さい。
2. 万一本機が故障した場合は、お買い上げ頂いた販売店へお送り下さい。
3. 本製品は、防水型ではありませんので設置の際、雨水のかかる場所等での設置はできません。
4. 本製品を、ベンジン、シンナー、ガソリン等で拭くと、変質、変色の原因となります。
5. 本機を使用できるのは、日本国内及び下記の外国のみです。

日本の規格で使用できる主な国　1.アメリカ 2.カナダ 3.韓国 4.台湾 5.フィリピン 6.チリ 7.コロンビア 8. ミャンマー 9.メキシコ 10.エクアドル 11.キューバ

URL: http://www.daiwa-industry.co.jp

購入年月日	年　月　日
型　式	IR-9335VG-T1
お客様	ご住所 お名前 電 話
販売店	店名・住所

保　証　書

1 :保証期間はお買い上げ月日より１年です。
2 :修理はお買い上げの販売店で受付いたしますので保証書を添えてお 出 しください。尚保証期間内でも、本保証書の提示がない場合や必要箇所の記入及び捺印のない場合。
その他次のような場合の修理は有料となります。
・使用方法の誤り、または乱用による故障。
・不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
・天災（落雷、火災）による故障及び損傷。
3 :修理品の運賃等、諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。
4 :本器の故障のため生じた２次的な事故は保証いたし兼ねます。
5 :本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

株式会社 タイワ インダストリ ■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6
〒146-0082 TEL:03-3755-5645（代）
FAX:03-3755-2253

No,201005

DAIWA

IR-9335VG-T1

赤外線LED付 バンダルドーム型デイナイトカメラ(DC12V)

取扱説明書

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、必要なときに読めるように大切に保管して下さい。

● 安全上のご注意 ●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。

● 表示マークについて ●

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。

⚠ 注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定されます。

警　告

注意、警告、危険を伝えるものです。

禁止の行為を伝えるものです。
例えば、 は「分解禁止」を示します。

強制事項の内容を伝えるものです。
例えば、 は「入力コードを取り外すこと」を示します。

本機のカバーを外したり、改造しないでください。故障の原因になります。内部の点検、調整、修理は販売店にご相談下さい。

安全上の注意

本製品は一般日常生活に使用する商品ですから、人命にかかわる場所や高い信頼性、安全性が要求される場所では使用しないで下さい。

本製品は精密機械ですから、分解や改造は絶対にしないで下さい。

電源コード類を傷つけたり破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張たりすると電源コード類が破損し、火災、感電の原因となります。

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐにコンセントを抜いて、販売店に修理をご依頼下さい。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

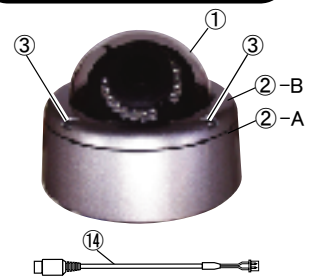
取付け場所などを移動するときは、必ず総ての電源を切った状態で線をはずしてから移動して下さい。

※ 本製品は改善のため企画、外観等を予告なしに変更することがあります。

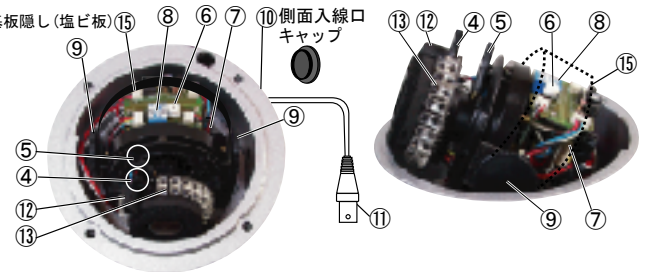
特 長

- 強化プラスチック防破壊型ドーム
- 感度UP機能付
- 3軸方向(XYZ)の各調整自在
- オートアイリスバリフォーカルレンズ内蔵
- 逆光補正機能付　● DNR機能付
- 高解像度設計 水平解像度540TV本
- 38万画素
- 補助モニター出力ケーブル(MONITOR OUT)付
- デイナイト機能付　● フリッカーレス機能付
- 赤外線LED 18個付

各部の名称と調整方法



付属補助モニター出力ケーブル
(RCA-J/2P)



IR-9335VG-S1 内部

① **カバー**
- 強化プラスチック防破壊型を仕様。外すには、③カバー留めビスを緩めてください。

※ 調整時は⑮基板隠しをずらしてから調整して下さい。調整し終わったら、元に戻し基板を隠してください。

② **ベース**
- 取付面に固定する為の取付ベースです。ベースA(②-A)とベースB(②-B)に分かれています。

③ **カバー留めビス**
- 付属の六角レンチでビス4ヶ所を緩めるとベースB(②-B)とカバーをベースA(②-A)より外せます。

④ **フォーカス調整ノブ**
- N:NEARにまわすと至近側、∞:FARにまわすと至遠側になります。

⑤ **ズーム調整ノブ**
- T:TELEにまわすと画角は狭くなり、W:WIDEにまわすと画角は広くなります。

⑥ **DCアイリスレベル調整ボリューム**
- DCアイリスレンズを使用した場合に、レンズの絞りを調整します。
- ● 通常時　：工場出荷時には中央付近に設定されています。モニター映像に問題なければこのままの状態にしておきます。
- ● 画面が暗い時　：右方向にゆっくりと回して微調整します。
- ● 画面が明るい時：左方向にゆっくりと回して微調整します。

⑦ **補助モニター出力端子(MONITOR OUT)**
- 付属の補助モニター出力ケーブル(RCA-J/2P)⑭を接続してカメラの画角、ピント調整をします。調整後はケーブルを外してください

⑧ **機能選択ディップスイッチ**

FLK：フリッカレススイッチ ON/OFF
(FLKをON にするとS-UPは、自動的にOFFになります。)
BLC：逆光補正スイッチ ON/OFF
S.UP：感度アップスイッチ ON/OFF
DN：デイナイト機能 ON/OFF

(出荷時位置)

拡大図

FLK	■	ON
BLC	■	ON
S.UP		OFF
DN		ON

＜FLK：フリッカレスON/OFF切替スイッチ＞
東日本地域(50Hz)で発生する蛍光灯のチラツキを軽減する場合、ON状態に設定します。出荷時はOFF状態になっています。(※ FLKスイッチをON状態にすると感度アップ機能の効果はなくなります。)

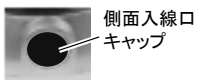
＜BLC：逆光補正ON/OFFスイッチ＞
逆光時に被写体が暗くなるのを補正したい場合にON状態に設定します。出荷時はOFF状態です。

＜S.UP：感度アップスイッチ＞
白黒画面時に画像が暗いと感じたらS-UPスイッチをON状態にして、FLKスイッチもOFF状態にして下さい。出荷時は感度アップがOFF状態です。(※ FLKスイッチをONにすると感度アップ機能の効果はなくなります。)

＜DN：デイナイト機能ON/OFF切替スイッチ＞
出荷時はデイナイト機能がON状態です。OFFにするとカラーのままで撮影し続け、暗くなっても白黒には切り替わりません。(デイナイト機能がOFF状態でも、S.UP:感度アップ機能はONに設定可能です。)

⑨ **垂直アングル固定ネジ**
- 垂直アングル固定がゆるい場合はネジを右に回して締め付けて下さい。

⑩ **側面入線口**
ケース側面からケーブルを出す場合は入線口キャップを外し、側面から外にケーブルを出してください。

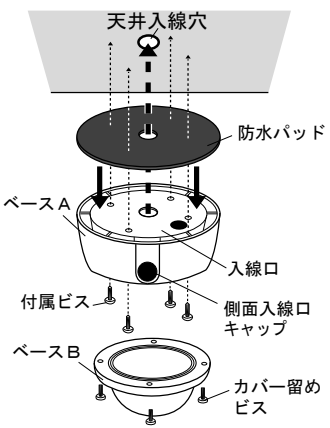


⑪ **映像出力端子(BNC-J)**
- 電源重畳型の場合ドライブユニットに接続します。

⑫ **CDS**
- 光を感知するセンサーで一定の明るさ以下を感知すると、赤外線LEDを点灯させます。

⑬ **赤外線LED**
- 18個の赤外線LEDにより真っ暗の中でも被写体を映し出します。

取り付け方



① ウレタンの防水パッドに付いている紙を剥がして、カメラの底面に貼ります。このとき入線口の穴と防水パッドの穴が合うように、またカメラが防水パッドの中心に来る様に貼ってください。(防水パッドはカメラより数㎜ 大きくできています。)

② 付属の六角レンチでカバー留めビスを緩めて、ドームベースBをドームベースAから外します。

③ (a)天井裏からケーブルを這わす場合は、カメラベースAの入線口と天井の入線穴の中心を合わせてください。(穴がずれるとカメラベースが天井にしっかり固定できません)

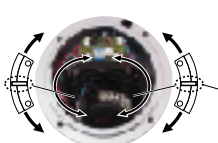
(b)天井裏からケーブルを這わさずケースの横の側面入線口からケーブルを出す場合は側面入線口キャップを外してからケーブルを外に出してください。

④ レンズ方向を監視したいに所に向けたら、付属ビスで天井に固定します。

⑤ ドームカメラ固定後、カメラの画角及びフォーカスを調整してください。

⑥ 全ての調整が終わったらドームベースBを取り付けて終了です。

◆ 3軸方向調整機能 ◆



カメラの3軸方向(XYZ)の各調整が、簡単に出来る3軸方向調整機能搭載により、設置時の画角調整などが容易に行えます。

回転ノブ　レンズを水平方向に回転する場合はレンズを持たずに、回転ノブを持って回してください。